

# 第2期 人吉市スポーツ推進基本計画

みんなが幸せを感じるまち。ずっと住み続けたいまち。

## ひとよし



令和4年3月

人吉市教育委員会



## 改定にあたって

スポーツは世界共有の人類の文化であり、心身の健康の保持増進や体力の向上のみならず、運動の喜び・感動を共有し、フェアプレイの精神をもって理解し合うことで人々のつながりを深めます。スポーツの力はともに地域に生きる喜びを広げ、人生をより豊かで充実したものにします。

本市では平成27年に「人吉市スポーツ推進基本計画」を策定し、ひとよし温泉春風マラソン（現名称：ひとよし温泉マラソン）をはじめとしたスポーツイベントを実施し、各種スポーツ教室の開催や、団体・指導者の育成、施設の整備などさまざまな施策を通して、市民の健康の増進や体力の向上に取り組んでまいりました。

第2期計画においては、第6次人吉市総合計画のまちづくりの理念『みんなが幸せを感じるまち。ずっと住みたいまち。ひとよし』を実現するため、「市民のライフステージに応じたスポーツ環境づくり」「競技スポーツの振興」「スポーツ施設の利用促進と整備・改修」の3つを柱として掲げ、それぞれの目標と具体的施策等を示しています。

誰もが気軽にスポーツに親しみ、そして、楽しむことができるよう「(スポーツを)する・(アスリートのプレーを)みる・ささえる(支援する)」スポーツ活動を通して、スポーツの楽しさや感動を分かち合い、互いに支え合いながら、市民の健康で活力ある生活の実現を目指し、市民の皆様とともに取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本計画を改定するにあたり、貴重なご意見をお寄せいただきました市民の皆様と多くの関係者の皆様方に心から感謝申し上げます。

令和4年3月

人吉市教育委員会

# 目 次

## 第1章 計画の概要

1 改定の背景・趣旨	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画の期間	2
4 第2期人吉市スポーツ推進基本計画の体系	3

## 第2章 基本構想

1 基本理念と目指す姿	4
2 基本施策の体系	4
(1) 市民のライフステージに応じたスポーツ環境づくり	4
(2) 競技スポーツの振興	4
(3) スポーツ施設の利用促進と整備・改修	4

## 第3章 施策の展開と具体的な取り組み

### 第1 市民のライフステージに応じたスポーツ環境づくり

1 現状と課題	5
(1) 本市の人口減少と高齢化の進行	5
(2) 児童生徒の体力・運動能力	5
(3) 児童生徒の運動やスポーツに対する意識	7
(4) 運動部活動の現状	8
(5) 小学校運動部活動の社会体育への移行	8
(6) 成人のスポーツ実施状況	9
(7) 高齢者スポーツの推進	10
(8) 障がい者スポーツの推進	10
(9) 総合型地域スポーツクラブの教室・会員数の推移	11
(10) 人吉市主催の主なスポーツイベントの参加推移	11
2 施策の方向	12
3 目標	12
4 具体的な取り組み	12
(1) 幼児期における運動・スポーツの推進	12
(2) 学校体育の充実	12
(3) 社会体育の充実・推進	12
(4) スポーツ少年団活動の推進	12
(5) 総合型地域スポーツクラブの活性化	13
(6) スポーツ推進委員の育成	13



(7) 高齢者スポーツの推進	13
(8) 障がい者スポーツの推進	13
(9) スポーツ機会の充実と情報提供	13

## 第2 競技スポーツの振興

1 現状と課題	14
2 施策の方向	14
3 目標	15
4 具体的な取り組み	15
(1) 競技人口の拡大	15
(2) 指導者の育成と資質の向上	15
(3) 競技団体への支援・トップアスリートの育成	15

## 第3 スポーツ施設の利用促進と整備・改修

1 現状と課題	17
(1) スポーツ施設年間利用者	18
① 社会スポーツ施設	19
② 学校体育施設	21
③ 校区コミュニティセンター体育館	22
④ 公共スポーツ施設への要望	23
(2) スポーツ施設における主な整備・改修、備品購入 実績推移（平成27年度～令和元年度）	24
2 施策の方向	26
(1) 利用環境の向上	26
(2) 施設の長寿命化	26
(3) 財源の確保	26
3 目標	26
4 具体的な取り組み	27
(1) 施設の整備、設備・用具の充実	27
(2) スポーツ施設の利用促進	27
(3) 施設の長寿命化	27
(4) 多目的運動広場の調査・研究	27

### 《資料》

●人吉市民の体力・スポーツに関する調査集計報告書	資料1
●人吉市民の体力・スポーツに関する調査での主なご意見	資料10
●意見公募（パブリックコメント）のご意見	資料19

# 第1章 計画の概要

## 1 改定の背景・趣旨

本市では、平成27年3月に「人吉市スポーツ推進基本計画（計画期間：平成27年度～平成31年度）」を策定し、この計画に基づきスポーツの振興に努めてきました。

この5年間の計画期間の中で、高齢者のスポーツ活動の広がりなどがある一方で、経済・雇用の低迷など社会情勢の変化、懸念されていた人口減少と少子高齢化に歯止めがかからず、また、熊本地震の発生もありました。

県内における小学校運動部活動も大きく変わりました。熊本県教育委員会が平成27年3月に策定した「児童生徒のための運動部活動及びスポーツ活動の基本方針」により、平成31年度（令和元年度）から小学校運動部活動が廃止され社会体育へ移行しました。本市においても、「運動をする児童」と「運動をしない児童」の運動習慣の二極化を防ぐこと及び児童の生涯スポーツの入口としての運動機会を創出すべく取り組みを進めてきました。

新型コロナウイルス感染症の影響が、令和元年度からスポーツ環境にも出始め、感染拡大防止の観点から、本市のスポーツ施設の利用制限等が始まりました。令和2年度から令和3年度にかけては、感染拡大防止のための緊急事態宣言発令等もあり、多くのスポーツイベントや各種大会が中止、施設等は休館を余儀なくされました。

加えて令和2年7月豪雨災害に見舞われたことから、市民生活のみならずスポーツ環境も大きなダメージを受けました。大規模な浸水被害が市内の広範囲で発生して、市民プールや校区コミュニティセンター等では浸水被害を受けました。多くの市民が被災したことから、本市の最大のスポーツ施設である人吉スポーツパレスは約6ヶ月の長期にわたり避難所となり、復旧・復興に向けた取り組みの一環で、第一市民運動広場には災害土砂置場が設営され、梢山地区多目的グラウンドと川上哲治記念球場のサブグラウンドには仮設住宅が建設されました。

豪雨災害からの復旧・復興を進めていく中で、令和3年度は本市で開催された聖火リレーや東京2020オリンピック・パラリンピックでのアスリートの活躍に大きな感動と勇気を与えられ、スポーツのもつ力を再認識させられました。

このような状況を踏まえ、市民がスポーツを通じて、幸福で豊かな生活を営むために「第6次人吉市総合計画」の基本理念「みんなが幸せを感じるまち。ずっと住み続けたいまち。ひとよし」の実現を目指し、「第2期人吉市スポーツ推進基本計画（以下、「計画」という。）」を策定しました。

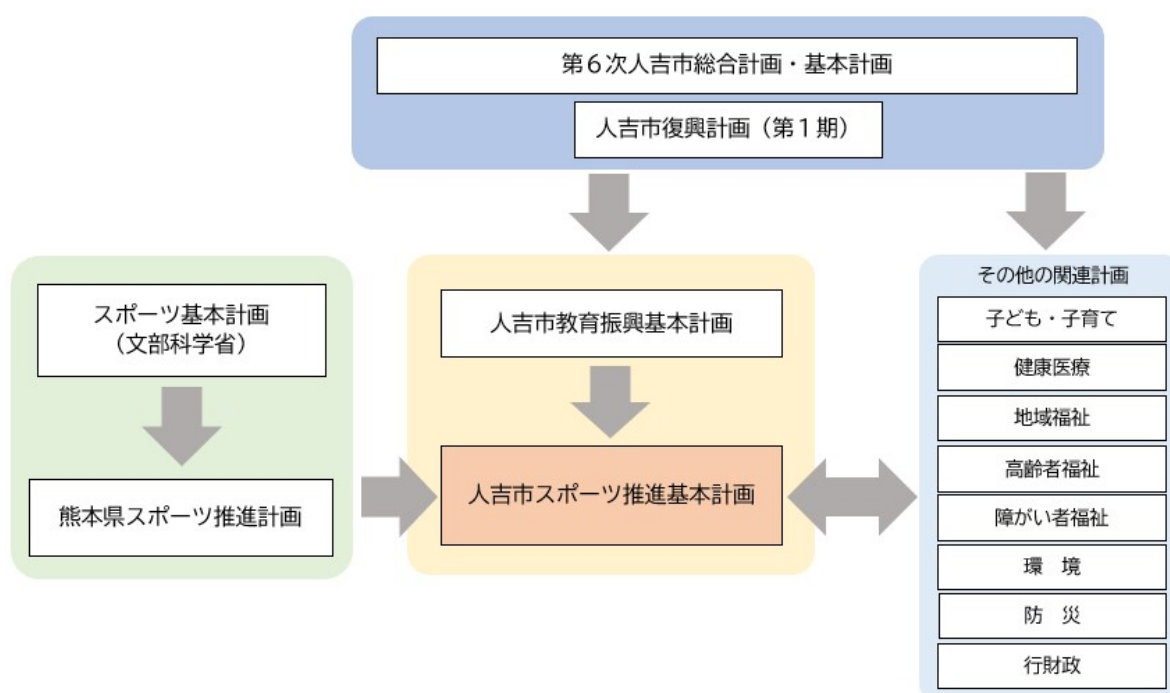
## 2 計画の位置付け

この計画は、「第6次人吉市総合計画」を上位計画と位置付け、国が平成29年に定めた「第2期スポーツ基本計画」及び熊本県が平成31年に定めた「第2期熊本県スポーツ推進計画」を踏まえ策定しました。

また、「第3次人吉市教育振興基本計画」など本市の関連する計画と連携を図りながら策定をしております。

※この計画は、平成23年に制定されたスポーツ基本法第10条に基づく地方スポーツ推進計画です。

< 計画のイメージ >



## 3 計画の期間

この計画の期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間とします。

- 第1期 平成27年度～平成31年度（令和元年度）までの5年間
- 第2期 令和4年度～令和8年度までの5年間

※令和2年度～令和3年度については、新型コロナウイルス感染症及び令和2年7月豪雨災害の影響により対象期間からの除外となります。

## 4 第2期人吉市スポーツ推進基本計画の体系

### 基本理念

みんなが幸せを感じるまち。ずっと住み続けたいまち。ひとよし

### 目指す姿

誰もが気軽にスポーツに親しみ、そして、楽しむことができるよう「(スポーツを)する・(アスリートのプレーを)みる・ささえる(支援する)※1」スポーツ活動を通して、スポーツの楽しさや感動を分かち合い、互いに支え合いながら、市民の健康で活力ある生活の実現を目指します。

### 基本施策

#### 1 市民のライフステージに応じたスポーツ環境づくり

- (1) 幼児期における運動・スポーツの推進
- (2) 学校体育の充実
- (3) 社会体育の充実・推進
- (4) スポーツ少年団活動の推進
- (5) 総合型地域スポーツクラブの活性化
- (6) スポーツ推進委員の育成
- (7) 高齢者スポーツの推進
- (8) 障がい者スポーツの推進
- (9) スポーツ機会の充実と情報提供

### 基本施策

#### 2 競技スポーツの振興

- (1) 競技人口の拡大
- (2) 指導者の育成と資質の向上
- (3) 競技団体への支援・トップアスリートの育成

### 基本施策

#### 3 スポーツ施設の利用促進と整備・改修

- (1) 施設の整備、設備・用具の充実
- (2) スポーツ施設の利用促進
- (3) 施設の長寿命化
- (4) 多目的運動広場の調査・研究

※1:スポーツを「ささえる」とは、自らの意思でスポーツを支援することを広く意味しており、指導者や専門スタッフ、審判等のスポーツ専門家による支援だけでなく、サポーターやボランティアなど様々な形がある。また、スポーツ活動を成り立たせるために、スポーツ団体やチームの経営を担ったり、スポーツ用品や施設の提供を行ったりすることも含まれる。(出典:国スポーツ基本計画)

## 第2章 基本構想

### 1 基本理念と目指す姿

#### 基本理念

みんなが幸せを感じるまち。ずっと住み続けたいまち。ひとよし

#### 目指す姿

誰もが気軽にスポーツに親しみ、そして、楽しむことができるよう「(スポーツを)する・(アスリートのプレーを)みる・ささえる(支援する)」スポーツ活動を通して、スポーツの楽しさや感動を分かち合い、互いに支え合いながら、市民の健康で活力ある生活の実現を目指します。

### 2 基本施策の体系

#### (1) 市民のライフステージに応じたスポーツ環境づくり

##### 施策の方向

子どもから大人、高齢者や障がいのある人など、市民の誰もが生涯にわたり、明るく豊かで活力ある生活が営まれるよう、スポーツ環境づくりを推進します。

#### (2) 競技スポーツの振興

##### 施策の方向

各種競技大会・スポーツイベント等の開催支援や優れたスポーツ指導者の確保・育成及び競技者の育成を通して、競技力向上に取り組み、競技スポーツの振興を図ります。

#### (3) スポーツ施設の利用促進と整備・改修

##### 施策の方向

市民のスポーツニーズを踏まえながら設備等の充実にも努め、施設の利用環境の向上を図ります。

財政基盤がますます厳しくなることが予測される中、計画的な整備・改修等を行うとともに、施設の長寿命化を図ります。

## 第3章

### 施策の展開と具体的な取り組み

## 第1 市民のライフステージに応じたスポーツ環境づくり

### 1 現状と課題

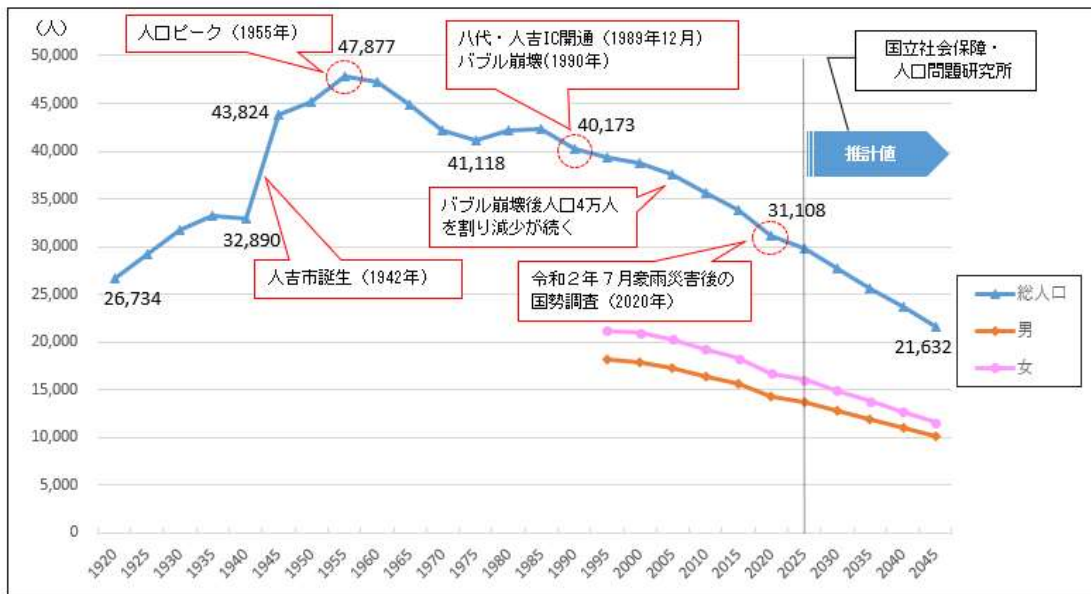
#### (1) 本市の人口減少と高齢化の進行

本市の総人口は、昭和30年（1955年）に47,877人で人口のピークを迎えた後は減少に転じ、令和27年（2045年）には、21,632人になると予測されております。この状況は、本市における地域社会や地域経済、財政基盤に大きな影響を及ぼすもので、地域の存立基盤に関わる深刻な問題といえます。

また、少子高齢化が進行する中で健康寿命の延伸を図り、生涯にわたって生き生きと活動的に暮らしていくために、スポーツの果たす役割は、より一層大きくなっていくものと考えられます。

特に、高齢者スポーツの推進は、生きがいづくりや仲間づくり、地域での見守りにつながり、高齢者の社会参加を促し、加齢に伴う認知症や疾病の予防という健康長寿社会への貢献、また、年々増大する医療費の削減につながると期待されています。

#### < 人吉市の総人口・男女別人口の推移 >



資料：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

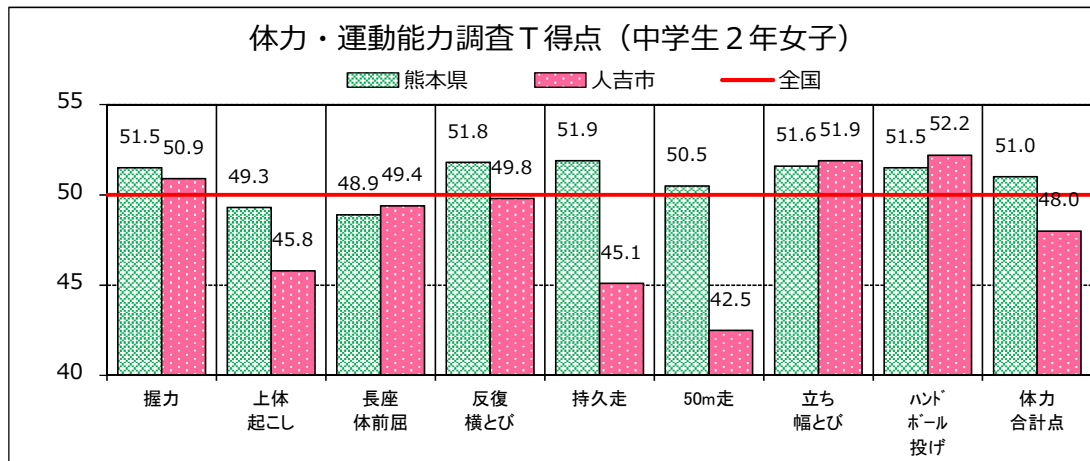
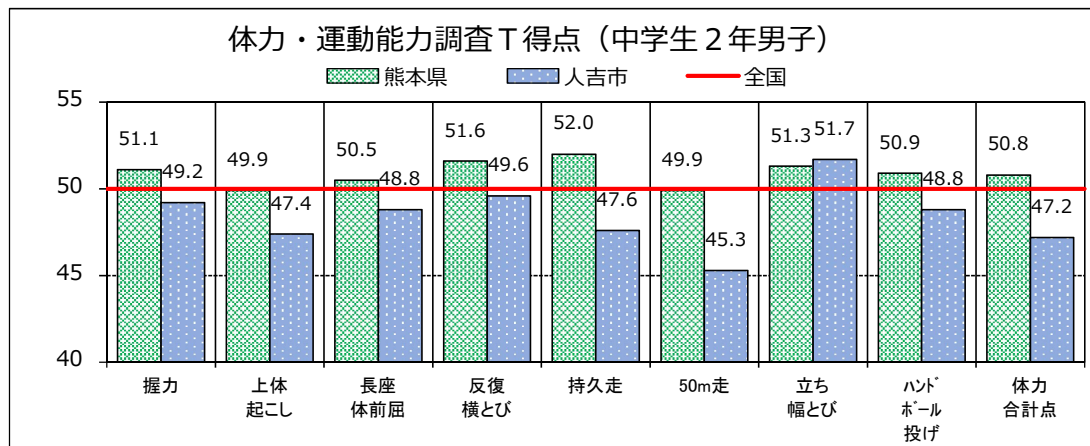
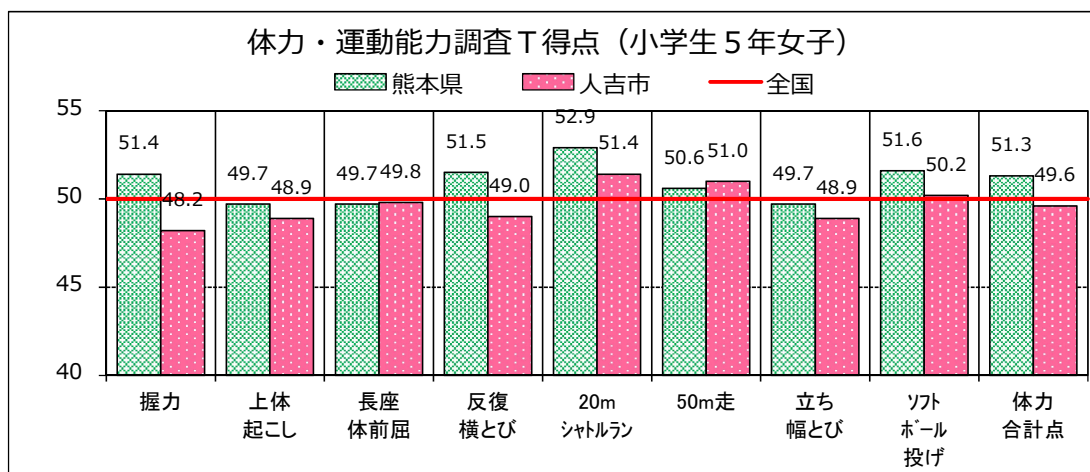
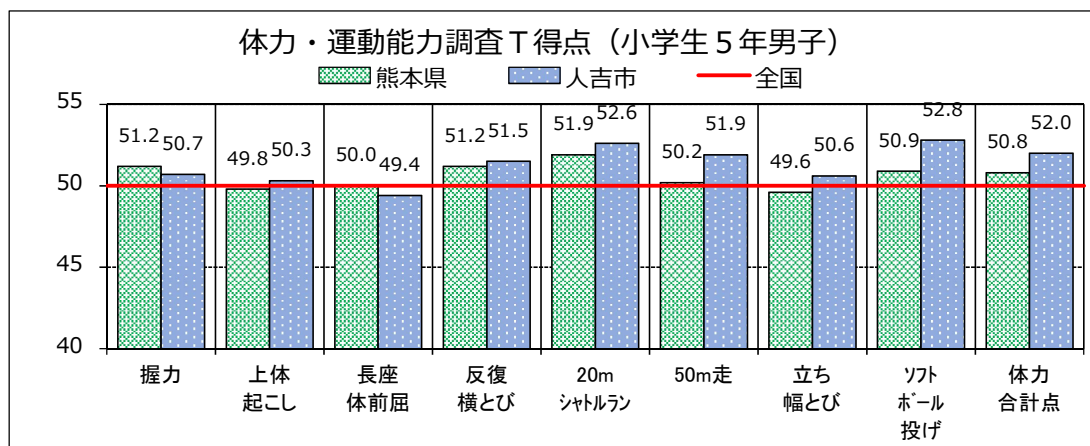
#### (2) 児童生徒の体力・運動能力

児童生徒の体力については、スポーツ庁が実施している「全国体力・運動能力、運動習慣等調査（小学5年、中学2年対象）」によると、近年、体力低下傾向に歯止めがかかってきており、児童生徒の体力向上に関する施策の効果が出てきていることがうかがえます。

令和元年度の同調査において、本市のT得点（全国平均を50とした偏差値）平均は、小学生5年男子については、全国平均や熊本県の平均よりほぼ高い結果となっていますが、それ以外の小学生5年女子、中学生2年男女は、全国平均と比べて低い傾向結果で、体力・運動能力の向上に向けたより一層の取り組みが必要です。



令和元年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」(スポーツ庁)



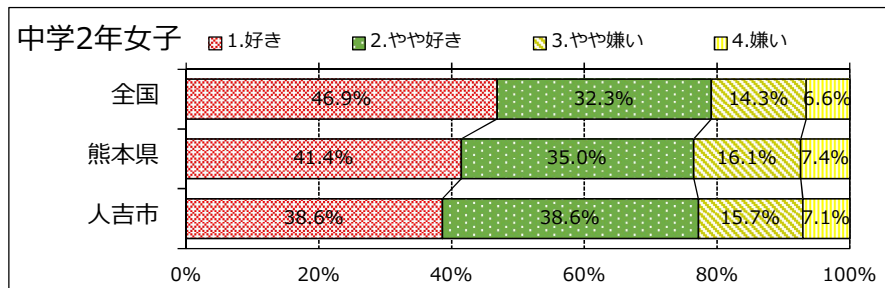
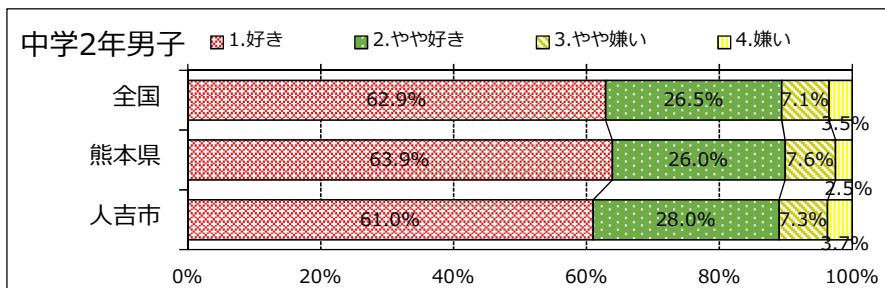
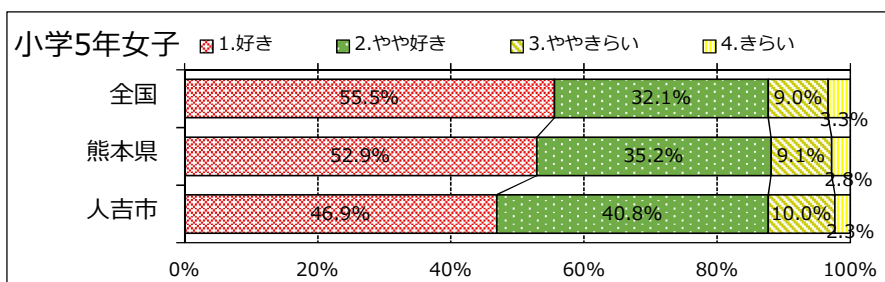
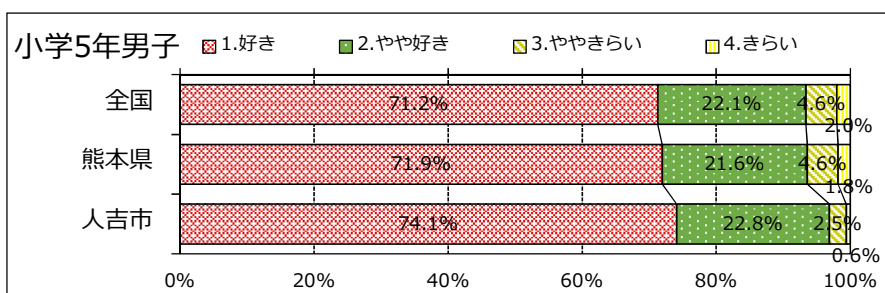
### (3) 児童生徒の運動やスポーツに対する意識

令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（小学5年、中学2年対象）の本市における結果は、「運動やスポーツは好きか」の質問に対して「好き」と回答した児童生徒は、小学5年男子では全国平均を上回っていますが、それ以外の児童生徒では全国平均を下回っています。

同調査報告書でのテーマ別分析において、『運動やスポーツが「好き」と感じている児童生徒は体力が高く、1週間の総運動時間も多いこと』が報告されており、これを裏付けるように、本市における体力・運動能力の総合得点平均は、小学5年男子は全国平均をほぼ上回っていますが、それ以外の小学5年女子と中学2年男女の児童生徒は全国平均を下回る傾向です。

調査報告書でも指摘されていますが、運動やスポーツを楽しみと感じる児童生徒を増やすための取り組みが求められています。

令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査（小学5年、中学2年対象）（スポーツ庁）  
運動やスポーツの「好き・きれい」の割合





#### (4) 運動部活動の現状

学校教育活動の一環として行われる運動部活動は、生徒の自主的・自発的な参加により行われ、異年齢との交流の中で、生徒同士や教員と生徒等の人間関係の構築を図ったり、生徒自身が活動を通して自己肯定感を高めたりすることができます。また、スポーツに関する科学的知見やスポーツとの多様な関わり方及びスポーツが持つ様々な良さを実感でき、自己の適性等に応じて、生涯にわたるスポーツとの豊かな関わり方を学ぶことができます。このことは、学校教育の目指す「生きる力の育成」や「豊かな学校生活」を実現させる役割を果たしてきました。

熊本県では、平成30年3月に国が示した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に則り、中・高等学校の「運動部活動の指針」を改正し、本指針に基づいた中・高等学校の運動部活動の適切な運営を目指しているところです。

#### (5) 小学校運動部活動の社会体育への移行

平成27年3月に熊本県教育委員会が策定した「児童生徒のための運動部活動及びスポーツ活動の基本方針」において、平成31年4月から小学校の運動部活動を社会体育へ移行することが示されました。

このことを受けて、本市では、各小学校、PTA、地域代表者等による検討委員会を設置し、「児童の運動機会の二極化を防ぐこと」及び「児童の生涯スポーツの入口としての運動機会を創出すること」を目標に、小学校の運動部活動を社会体育へ移行する検討を行い、平成30年度に「人吉市小学校社会体育」の試行を実施し、令和元年度から本格実施しました。

「人吉市小学校社会体育」においては、熊本県の「小学校の時期は、複数種目を実践することによりバランスのとれた体づくりを行い、運動の楽しさを体験させる」という基本方針のもと、特定の種目を重点的に行うのではなく、市内全ての小学校（6校）で希望者を対象に総合的な運動を行いました。

試行前の平成29年度に全小学校で試行に関する保護者説明会を実施。また、全ての小学校PTA 総会で、平成30年度には試行について、平成31年度（令和元年度）には本格実施について事業説明をしました。初年度となる令和元年度においては、児童の加入率を20%と見込みましたが、実績としては約10%と下回り、保護者の理解が進んでいないことなどが要因と分析したところです。さらに、令和2年度からはコロナ禍に加え令和2年7月豪雨災害の影響から参加者増加につながる環境ではありませんでした。

持続可能な事業としていくためには、総合的な運動の重要性などについて保護者の理解を得ること、また、指導者の育成と確保が今後の課題です。

また、「人吉市小学校社会体育」の取り組みとは別に市内のジュニアクラブやスポーツ教室などの情報発信にも取り組みました。

#### < 人吉市小学校社会体育 運動メニュー >

【体を操作する運動】 <ul style="list-style-type: none"><li>・言うことやることゲーム</li><li>・開脚じゃんけん</li><li>・二人組にてびざタッチ</li><li>・フラフープ通りリレー など</li></ul>	【素早く走る運動】 <ul style="list-style-type: none"><li>・変形スタートダッシュ</li><li>・落とさず鬼ごっこ</li><li>・しっぽ取り</li><li>・ラダーを使ったステップ など</li></ul>
【よける運動】 <ul style="list-style-type: none"><li>・よけてかわそう(ソフトfrisビーでのドッチボール) など</li></ul>	【その他の運動】 <ul style="list-style-type: none"><li>・ソフトfrisビー など</li></ul>

## 人吉市小学校社会体育 参加推移

年度	平成30年度 試行期間		令和元年度 スタート時		令和3年度 スタート時	
	児童数	サポーター数	児童数	サポーター数	児童数	サポーター数
人吉東小	62人	13人	20人		17人	
人吉西小	39人	7人	6人		8人	
東 間 小	45人	5人	12人	1人	14人	
大 畑 小	16人	1人	6人	1人	4人	
西 瀬 小	33人	3人	20人		11人	1人
中 原 小	41人	4人	12人		17人	
合計	236人	33人	76人	2人	71人	1人

※スタート時は、6月1日時点のデータです。

※サポーターは、保護者などから募集。指導者補助、児童の見守り役をお願いしています。



人吉市小学校社会体育 活動の様子

### (6) 成人のスポーツ実施状況

成人が週に1回以上の運動を行うスポーツ実施率は、スポーツ庁及び熊本県の調査によると、国 53.6%（令和元年度調査）・県 52.9%（平成30年1月調査）という結果が出ています。

本市の「体力・スポーツに関する市民調査（令和元年度）」においては、29.6%でした。平成26年度の市民調査のスポーツ実施率が42.5%でしたので、比較すると大きく減少している状況です。そのため、多くの方が気軽にスポーツに親しむことができる環境を整えることで、国が示す目標値である65%に近づけていく必要があります。

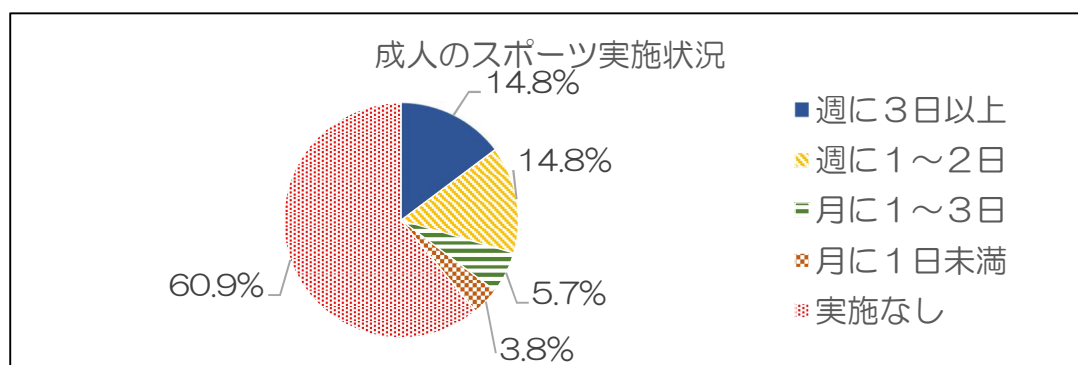
次に、実施している運動について市民調査では、「ウォーキング」、「体操」、「ランニング・ジョギング」が約80%を占めたところです。このことから、道具を使わず、より気軽に体を動かすことができる運動を実施されていることが分かります。

また、スポーツをする目的について、「健康・体力づくりのため」が65.2%で最も多く、「運動不足解消のため」、「楽しみ、気晴らしのため」と続いています。

一方、スポーツや運動をしていない理由に着目してみると、「仕事（家事・育児など）が忙しい」が最多となり、次いで「年をとった」、「特に理由はない」がほぼ同じ回答数ありました。

こういったことから、スポーツ実施率向上のためには「仕事・子育て世代がスポーツに参加しやすい環境づくり」を行うことが重要であるとともに、「高齢者が取り組みやすいスポーツの推進」と「市民のスポーツへの関心の向上」を図る必要があると考えられます。

また、ウィズコロナ時代に安全に運動・スポーツをするため、密回避など感染対策を実施し、スポーツ活動の推進を図っていくことが求められています。



資料：人吉市「体力・スポーツに関する市民調査（令和元年度）」

#### （7）高齢者スポーツの推進

本市では、65歳以上の高齢者数が11,605人（令和2年9月時点）となり、高齢化率は36%を超えています。

平成12年に介護保険制度が開始されてから、要支援・要介護認定者の増加により、介護・医療費の増大をはじめ様々な問題が山積しており、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる環境を整備することは喫緊の課題となっております。

その解決の1つとして、高齢者が本来の運動要求や体力の維持増進、身体機能の回復等、それぞれの目的に応じた運動やスポーツを通して活力や生きがいを見出し、社会活動にいきいきと活動的に参画していくことは、ボランティア活動、加齢に伴う認知症や疾病の予防、高齢者と子どもたちとの交流など地域社会にとって大きな役割を果たすことにつながると考えます。

#### （8）障がい者スポーツの推進

障がい者スポーツを推進することは身体的なりハビリテーションを含め、運動能力や体力の強化が心に良い効果をもたらす、自立や社会参加といった生活改善の促進にもつながります。これらを通じて社会の障がい者に対する理解が一層深まり、共生社会実現への一助となることも期待されます。

一方で、障がい者はスポーツの機会・情報が限られていることや周囲のサポートが必要であることなどから、障がいのある人とない人との協働が必要不可欠となります。

また、障がい者スポーツの普及をはじめ、適切に対応できる指導者やボランティアが不足していること、障がいのある児童生徒がスポーツに親しめる環境が不十分であることなどの課題があるため、一層の条件整備が必要です。

さらに、障がい者の社会参加を促進するには、地域の障がいのある人と障がいのない人がスポーツを通して気軽に交流できる場の創出が必要です。

(9) 総合型地域スポーツクラブの教室・会員数の推移

総合型地域スポーツクラブ「カルヴァーリョ・ラッソ人吉」は、“いつでも、どこでも、いつまでも”という理念のもと、多くの人が生涯を通してスポーツ活動に親しむことができる場を提供してきました。

会員数の増加を図るため、年1～2回の体験教室開催などを実施してきました。

令和元年度から新型コロナウイルス感染症の影響から会員数の減少が始まり、令和2年度からは、コロナ禍に加え令和2年7月豪雨災害の影響から、スポーツ施設の休館等が続き、活動ができなかったこともあり、大きく会員数を減らしています。

総合型地域スポーツクラブの教室・会員数の推移

年 度	教室数	会員数	年 度	教室数	会員数
平成26年度	15	149人	平成30年度	14	152人
平成27年度	14	156人	令和元年度	13	113人
平成28年度	14	143人	令和2年度	10	77人
平成29年度	15	213人	令和3年度	10	56人

(10) 人吉市主催の主なスポーツイベントの参加推移

スポーツに親しむきっかけづくりとして、「人吉市民早起きソフトボール大会」、「人吉駅伝大会」、「ひとよし温泉マラソン（旧称：ひとよし温泉春風マラソン）」などを各種競技団体、スポーツ推進委員、民間団体にご協力いただき、開催してきました。人口減少と少子高齢化の影響もあり、参加者数は減少傾向にありました。

令和2年度、令和3年度については、コロナ禍、令和2年7月豪雨災害の影響から各大会は中止しております。今後は、地域の復興状況やコロナ禍の影響等も考慮しながら、競技団体などと連携を図り、スポーツイベントの実施方法について検討していく必要があります。

参加申込推移

年度	人吉市民早起きソフトボール		人吉駅伝		ひとよし温泉マラソン	
	延べ参加者数	チーム数	ランナー数	チーム数	ランナー総数	ハーフランナー数
平成26年度	438人	26	642人	107	6,408人	2,140人
平成27年度	458人	26	660人	110	6,237人	2,237人
平成28年度	397人	22	636人	106	5,915人	2,196人
平成29年度	350人	20	576人	96	5,576人	1,963人
平成30年度	318人	18	558人	93	5,412人	1,982人
令和元年度	307人	18	564人	94	4,151人	1,580人



人吉駅伝



## 2 施策の方向

子どもから大人、高齢者や障がいのある人など誰もが、それぞれのライフステージに応じて、生涯にわたり生活習慣としてのスポーツ活動を進めるため、それぞれの体力や年齢、技術、身体の状態及び趣味に応じて、目標を設定し「安全に」かつ「いつまでも」スポーツに親しむことができる環境づくりを進めます。

## 3 目標

- ◎小・中学校での体力・運動能力調査の総合得点平均で、全国平均を上回る。
- ◎成人の週1回以上のスポーツ実施率を40%以上にする。
- ◎成人のスポーツ未実施率を50%以下にする。

## 4 具体的な取り組み

### (1) 幼児期における運動・スポーツの推進

幼児期における運動・スポーツについては、子ども自身が体を動かすことの楽しさを実感し、進んで運動に取り組むことができるよう、幼稚園や保育所等で体を動かす楽しさを味わう時間や場所を確保し、子どもたちが元気に活動するための基礎となる望ましい生活習慣や食習慣を身に付けるための取り組みを推進するため、幼稚園教諭や保育士等に対して運動遊びに関する実技研修等の取り組みを関係機関と連携し支援します。

### (2) 学校体育の充実

学校体育では、児童生徒に積極的に体を動かす意識を持たせ、体育、保健の授業の充実はもとより、他教科、特別活動、総合的な学習時間等との関連づけを図り、地域の人的・物的資源等を活用しながら学校教育活動全体での体力向上の取り組みを推進します。

### (3) 社会体育の充実・推進

小学校運動部活動の廃止に伴う児童の運動機会の二極化を防ぐため、関係機関と連携し社会体育を充実させます。

また、市内のジュニアクラブなどの情報発信に引き続き取り組み、社会体育を推進します。

### (4) スポーツ少年団活動の推進

スポーツ少年団は、子どもたちがスポーツの基礎を習得し、生涯にわたりスポーツを楽しむきっかけになるだけでなく、さまざまな社会活動を通じて、青少年のこころとからだの健全育成を目的とします。

子どものスポーツ活動の充実と心身の健全育成を図るため、スポーツ少年団等が行う活動の推進に努め、指導者の養成と団員確保並びに組織拡大に取り組みます。



スポーツ少年団 総合交歓会（美化活動）



スポーツ少年団 夏季交流会

### (5) 総合型地域スポーツクラブの活性化

総合型地域スポーツクラブは、子どもから高齢者までの誰もが複数のスポーツを楽しむことができます。

本市において平成20年度に発足した総合型地域スポーツクラブ「カルヴァーリョ・ラッソ人吉」は、「いつでも、どこでも、いつまでも」という理念のもとに活動しております。

この総合型地域スポーツクラブが、今後も地域スポーツの担い手として、重要な役割を果たしていけるように、更なる活性化と充実を支援していきます。

### (6) スポーツ推進委員の育成

スポーツ推進委員は、地域におけるスポーツの指導やスポーツイベントなどの企画運営に携わり、また、総合型地域スポーツクラブの運営母体としても活動を行っております。

スポーツ推進委員の活動により市民生活にスポーツを取り入れていただけるよう各種研修会等への参加を奨励し、スポーツ推進委員の更なる資質向上を図ります。

### (7) 高齢者スポーツの推進

高齢者の運動習慣化などスポーツ活動への取り組みを進めるため、地域で気軽に手軽に参加できるグラウンドゴルフやニュースポーツ等を関係機関と連携して推進します。

### (8) 障がい者スポーツの推進

障がい者が取り組めるスポーツ種目を推進するとともに、市民の障がい者スポーツに対する理解を深め、障がい者の社会参加の契機となるよう取り組みます。

また、障がいのある人に対して、適切な対応ができる指導者の確保のために、障がい者相談支援事業所等を積極的に活用し講習会等を行い、指導者育成に努めます。

### (9) スポーツ機会の充実と情報提供

人吉市体育協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブや各種スポーツクラブとの連携により、市民のスポーツ機会の充実を図ります。

各種クラブチーム等の地域スポーツ団体の情報等を収集し、市のホームページや広報を通して、広く市民にスポーツ関連情報を提供していきます。



総合型地域スポーツクラブ 体験教室

## 第2 競技スポーツの振興

### 1 現状と課題

競技スポーツの振興は、市民のスポーツへの関心や意欲を高め、生涯にわたりスポーツに親しむために大きな役割を果たします。

本市における競技スポーツについては、人吉市体育協会に加盟する競技団体を中心に競技力向上の取り組みが行われています。

本市の競技力を判断する1つの指標としては、県民体育祭での総合成績や国民体育大会等の全国大会レベルの大会への出場状況でも確認でき、毎年、本市及び本市出身者の活躍が見られます。

今後の競技力向上のために、ジュニア選手の育成強化は重要であり、人吉市体育協会や地域スポーツ団体の協力を得て、指導体制の充実が図られることが必要です。

一方、本市においても少子高齢化と人口減少により、多くの競技団体において競技者の減少と高齢化が進行しています。同様に、運営スタッフ、指導者や審判員の高齢化も進んでおり、競技人口の拡大に向けた各団体の主体的な取り組みも課題となっています。

#### <県民体育祭における総合成績の推移（20郡市中）>

第70回（平成27年度）	11位
第71回（平成28年度）	熊本地震のため中止
第72回（平成29年度）	5位
第73回（平成30年度）	11位
第74回（令和元年度）	9位

※令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

#### <国民体育大会における出場選手・監督者数の推移>

第70回（平成27年度）	12名
第71回（平成28年度）	8名
第72回（平成29年度）	7名
第73回（平成30年度）	5名
第74回（令和元年度）	15名

※令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止



第72回熊本県民体育祭人吉球磨大会  
人吉市選手団入場行進

### 2 施策の方向

スポーツ団体と連携し、競技人口の拡大を図りながら、指導体制の構築と優れた指導者となる人材の育成・確保により、アスリートとなる選手の育成強化を図り、総合的な競技力向上を目指します。



### 3 目標

競技スポーツの振興を図り、競技スポーツに関わる市民の割合を高めます。

### 4 具体的な取り組み

#### (1) 競技人口の拡大

市民の競技スポーツへの関心を高め、競技者人口の拡大を図るため、各種競技団体やスポーツ少年団、総合型スポーツクラブなどと連携し、普及・広報活動を実施します。

#### (2) 指導者の育成と資質の向上

指導者の育成と資質の向上を図るため、人吉市体育協会、スポーツ団体と連携して、各種研修会を開催します。

さらに、専門性の高い指導技術の習得のため、公認指導者資格の取得を奨励します。

#### (3) 競技団体への支援・トップアスリートの育成

平成29年度に設置した人吉市スポーツ振興事業基金の活用推進を通して、人吉市体育協会に加盟する競技団体に対して支援し、競技力向上を図り、トップアスリートの育成につなげていきます。

人吉市スポーツ振興事業基金 4,000,000円（平成29年度設立）※1  
現在活用状況 1,317,383円（令和3年3月末現在）

※1：人吉市スポーツ振興事業基金は、人吉市と人吉市体育協会がそれぞれ200万円ずつ支出して創設しました。



人吉市女子ハンドボールチーム  
第72回熊本県民体育祭人吉球磨大会





人吉市男子バレーボールチーム  
第72回熊本県民体育祭人吉球磨大会



球磨工業高校カヌー部 市長表敬訪問  
平成28年インターハイ優勝報告



第69回球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会（令和3年度）優勝  
人吉市駅伝Aチーム、人吉市陸上競技会役員・監督

## 第3 スポーツ施設の利用促進と整備・改修

### 1 現状と課題

本市のスポーツ施設(※1)は、社会スポーツ施設(※2)が11施設、学校体育施設として6小学校と3中学校の体育館とグラウンド、校区コミュニティセンターの体育館等が5施設(※3)です。

特に社会スポーツ施設は、多くのスポーツ大会なども開催され、市民のスポーツ活動の拠点として、年間約20万人とたくさんの方に利用されていますが、建築時から相当の年数が経過し、老朽化が進んでいる施設も多いことから、計画的に修繕や改修等を進める必要があります。

さらに、令和2年7月豪雨災害の被災の影響等から使用できない施設については、復旧事業等に取り組んでいく必要があります。

一方、本市の財政状況は厳しいものがあり、「人吉市行財政健全化計画(2019年)」には、投資的経費(建設事業)抑制の取り組み方針として「国の補正予算であっても、後年度維持管理経費が必要となることを考慮し、ハコ物については当面実施しないものとする。」とあるため、併せて既存施設の長寿命化を推進し、新たな投資の抑制をする必要があります。

※1「スポーツ施設」：本計画書では、「社会スポーツ施設(※2)」「学校体育施設」「校区コミュニティセンター体育館等」を含めた呼称とします。

※2「社会スポーツ施設」：本計画書では、人吉市体育施設条例で定める体育施設を指します。

※3 令和3年3月現在、東間コミュニティセンターと中原コミュニティセンターが利用可能です。  
(令和2年7月豪雨災害の被災の影響等から利用できない体育館があります)



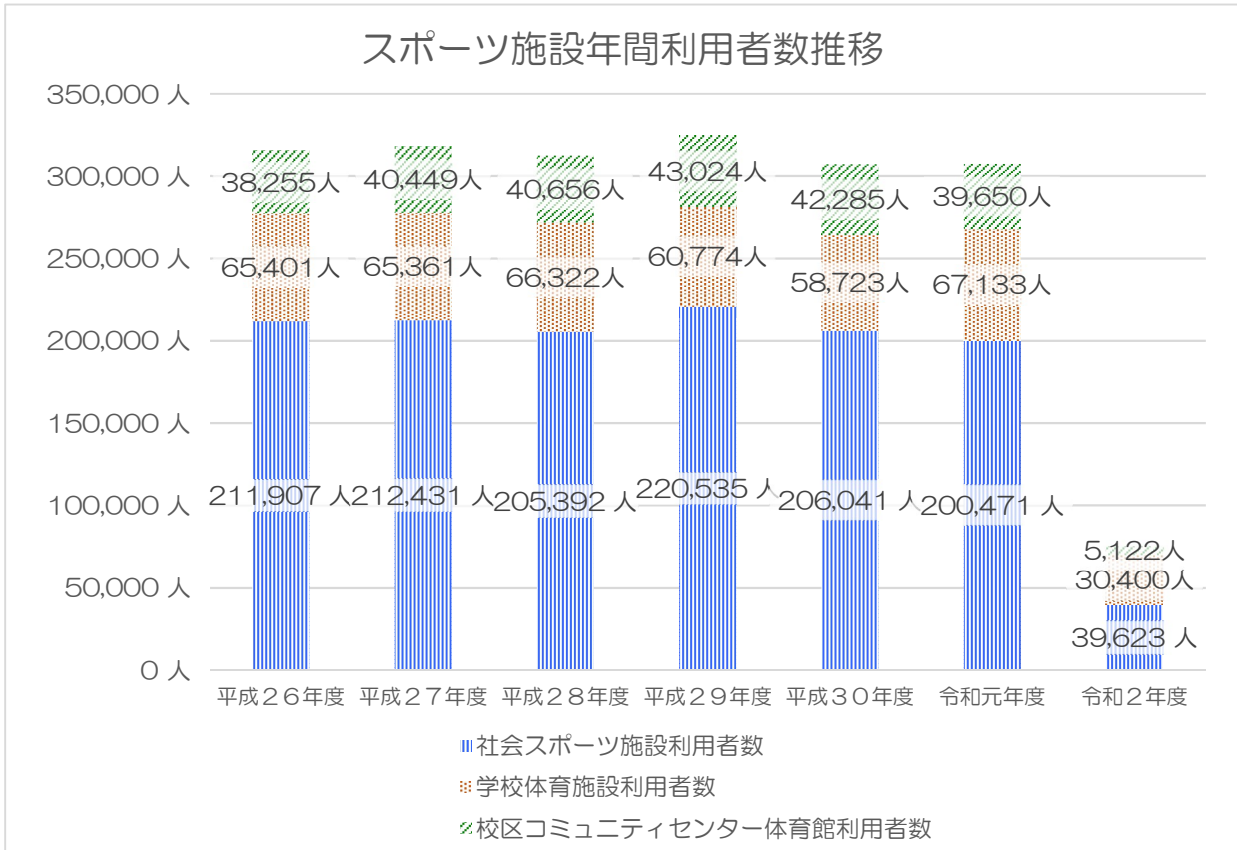
人吉スポーツパレス大アリーナ



人吉スポーツパレス大アリーナ避難所  
(令和2年7月豪雨災害後)

(1) スポーツ施設年間利用者

スポーツ施設全体の年間利用者の推移は次のとおりでした。



本グラフから分かるように、平成26年度から令和元年度において、年間利用者数は、ほぼ横ばいとなっています。

令和2年度については、コロナ禍と令和2年7月豪雨災害の影響で大幅に利用者数が減少しました。

スポーツ活動を推進する上では、豪雨災害からの復興を推進すると共に、施設の利用者サービスの向上、利用しやすいスポーツ施設運営に努める必要があります。さらに施設情報を積極的に発信し、市民の利用促進を図り、施設の稼働率を向上させる必要があります。



球磨川トレーニングセンター  
(令和2年7月豪雨災害で浸水被害)



50mプール(人吉市民プール)  
(令和2年7月豪雨災害・台風10号による被害)



① 社会スポーツ施設

本市では、社会スポーツ施設が11施設（第一市民運動広場、川上哲治記念球場、村山公園テニスコート、球磨川トレーニングセンター、市民プール、弓道場、射撃場、梢山地区多目的グラウンド、人吉スポーツパレス、相撲場、田野テニスコート）あり、市民がスポーツをする上での重要な活動拠点となっています。これらの施設は、指定管理者制度を導入し、適正管理と利用者サービス向上に努めています。

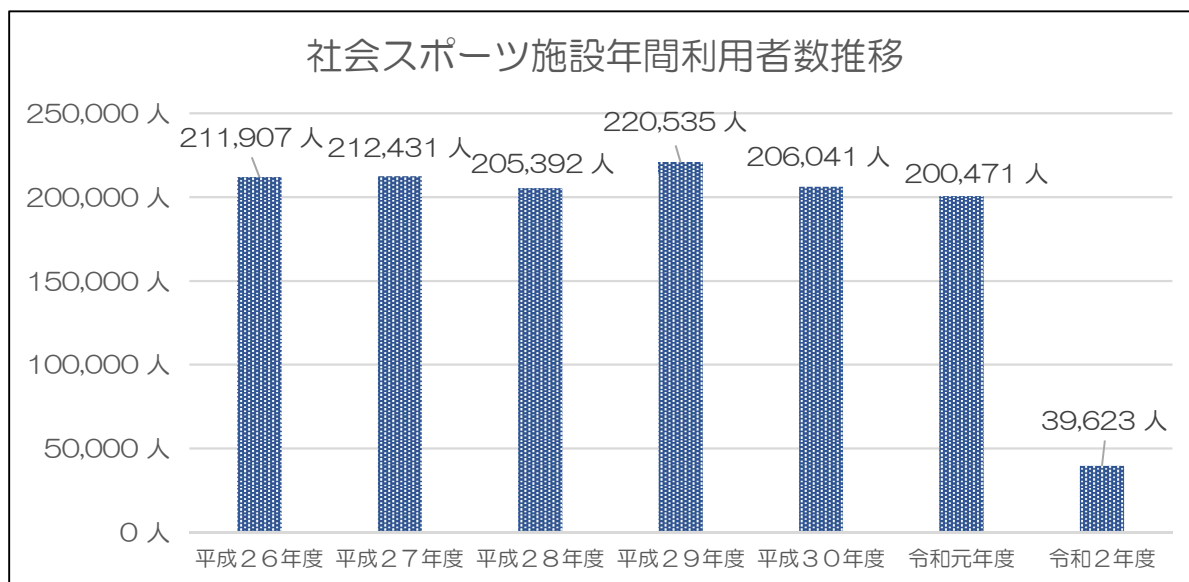
< 社会スポーツ施設の概要 >

施設名	所在地	総面積㎡	内容	建設年
第一市民運動広場	上原田町字上原 1883 番地	23,310	ソフトボール球場2面、夜間照明	S53
川上哲治記念球場	蟹作町 1531 番地1	41,507	野球場（農村運動広場）	H11
村山公園テニスコート	瓦屋町 1534 番地	9,100	テニスコート8面、夜間照明	S58
球磨川トレーニングセンター	下新町 344 番地	417	トレーニング室、カヌー艇庫	H元
市民プール	下林町 52 番地	9,730	50m 公認、25m、円形プール2（水面積 1,978㎡）	S45
弓道場	西間下町 7 番地1	1,759	近的8人立、遠的・アーチェリー兼用3人立	H19
射撃場	上林町 596 番地1	5,580	クレー射撃場8人立	H2
梢山地区多目的グラウンド	鬼木町 1769 番地15	14,180	サッカー場	H8
人吉スポーツパレス	下城本町 1566 番地1	33,184	大アリーナ 1,905㎡、小アリーナ 594㎡、第一武道場 468㎡、第二武道場 475㎡、トレーニング室 216㎡	H8
相撲場	下城本町 1625 番地2	2,462	相撲場（土俵、更衣室、シャワー室）	H14
田野テニスコート	田野町 3343 番地	6,927	テニスコート4面	H8

資料：人吉市教育委員会「人吉市の教育概要」令和3年度



川上哲治記念球場



社会スポーツ施設の年間利用者数の推移は、本グラフのとおりでした。  
 平成26年度から令和元年度まではほぼ横ばいとなっています。  
 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う施設利用制限に加え、令和2年7月豪雨の影響により施設閉鎖が長期化し、利用者数が激減しました。

令和2年7月豪雨災害に伴う各施設への主な影響、復旧状況、現況等は次のとおりです。

○第一市民運動広場

令和2年度に災害土砂仮置場となり利用停止となりました。

その後、令和3年6月にスポーツ利用の再開をしました。

○川上哲治記念球場

豪雨によりグラウンド内に水みちがで、プレーに支障が出る状態となりました。

令和2年度にグラウンドの整備を行いました。

○村山公園テニスコート

テニスコート横に村山公園仮設団地が建設されたことに伴い、団地住民の生活環境への影響を考慮し、夜間使用可能時間を1時間短縮して午後9時までとしました。

令和3年度も本制限を継続中です。

○球磨川トレーニングセンター

土間床上2.5mの浸水被害を受け、施設全体が被災しました。

令和3年度現在、復旧について熊本県と協議しています。

○市民プール

プール管理棟が床上30cm浸水被害を受け更衣室床面などが損傷。50mプールは強化プラスチック層に大きな亀裂が入りました。

50mプールは、その後の台風10号により被害が拡大し老朽化も著しかったため、災害復旧を断念。プール管理棟は令和3年度に災害復旧事業にとりかかりました。

○梢山地区多目的グラウンド

仮設団地が建設され、利用できなくなりました。令和3年度も利用停止中です。

○人吉スポーツパレス

令和2年7月から同年12月まで避難所となり、利用できませんでした。

その後、大アリーナについては、長期間避難所利用に伴う床面劣化によりスポーツ利用で再開すると重大な負傷事故につながる状態となったため、利用停止しました。

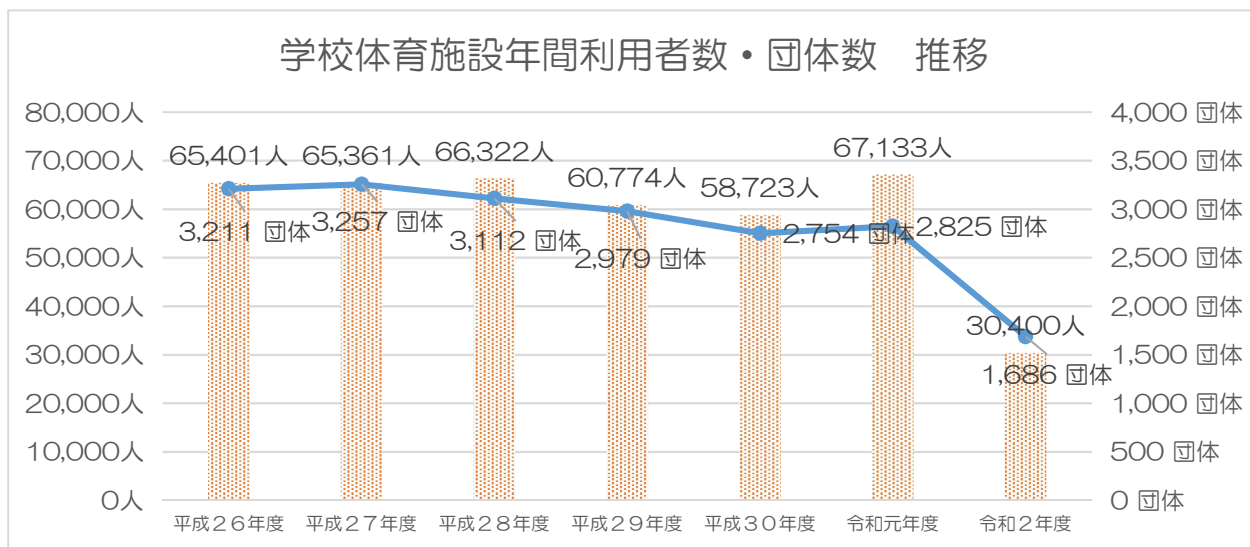
令和3年度に大アリーナの床面及び空調熱源改修工事にとりかかりました。

## ② 学校体育施設

本市は、市内6小学校と3中学校の体育館・グラウンドを放課後や休日などの学校教育に支障のない範囲で、一般市民に開放しています。

平成26年度から令和元年度までの間で、年度による増減はあるものの、利用者数及び利用団体の数は減少傾向となっています。

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う施設利用制限に加え、令和2年7月豪雨の影響（学校体育館の避難所開設）により利用者数が大幅に減りました。



※利用人数は左軸、利用団体数は右軸



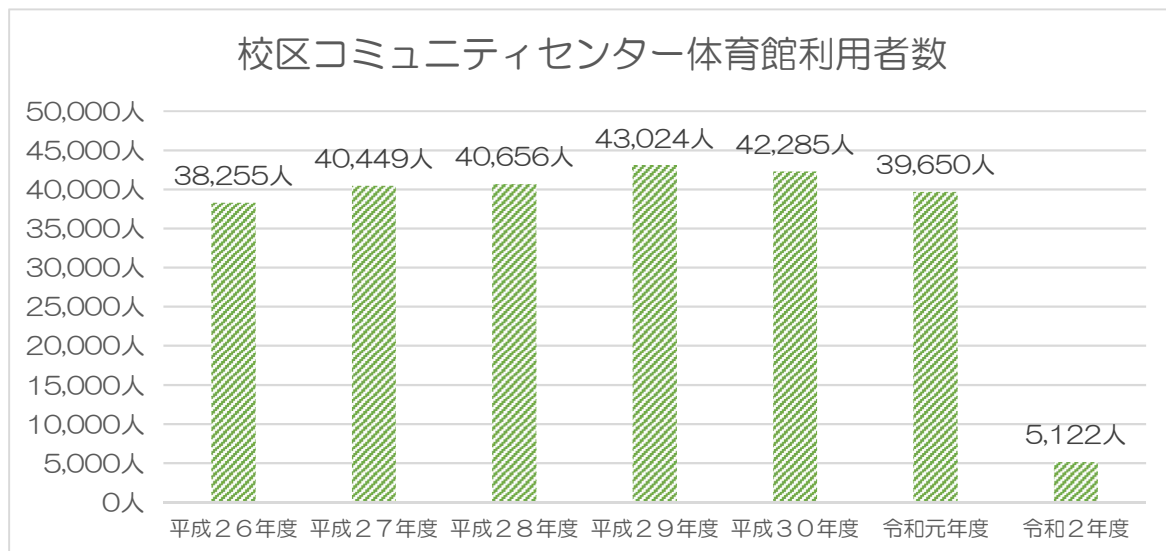
人吉市立第二中学校体育館 避難所  
(令和2年7月豪雨災害後、ダンボールベッド設営時)



### ③ 校区コミュニティセンター体育館

校区コミュニティセンターの体育館等の5施設の利用実績です。

平成26年度から令和元年度までは、ほぼ横ばい傾向となっています。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う施設利用制限に加え、令和2年7月豪雨の影響（浸水被害を受けた、避難所開設など）により利用者が激減しました。



#### ○各コミュニティセンターの体育館の現状について（令和3年3月現在）

東間コミュニティセンターと中原コミュニティセンターが利用可能です。

東西コミュニティセンターと西瀬コミュニティセンターは令和2年7月豪雨災害で被災し、浸水被害に遭ったため利用できません。

大畑コミュニティセンターは施設老朽化に伴い使用停止中です。



東西コミュニティセンター体育館  
（令和2年7月豪雨災害の被災前）



東西コミュニティセンター  
（令和2年7月豪雨災害での浸水被害後）

#### ④ 公共スポーツ施設への要望

「人吉市民の体力・スポーツに関する調査（令和元年度）」の中で「公共スポーツ施設について望むもの」についての回答では、「特にない・わからない」が一番多く、次いで「利用料金が安くなること」、「利用案内などの広報の充実」が多いという結果が得られました。





(2) スポーツ施設における主な整備・改修、備品購入実績（平成27年度～令和2年度）

施設の老朽化や故障などに伴い各種修繕や備品購入などを実施してきました。

平成29年度に、熊本県民体育祭が、本市及び球磨郡が会場となり、実施されたこともあり、平成28年度及び平成29年度は、会場となる施設の点検・整備を進めてきました。

令和2年度には、トイレ手洗いの自動水栓化や非接触式体温計の購入など新型コロナウイルス感染症の対策事業も実施しました。

スポーツ施設の整備・改修及び備品購入実績（平成27年度～令和2年度）

年度	施設名	内容
平成27年度	人吉スポーツパレス	自動火災報知設備の取替修繕
		樹木伐採
	市民プール	ろ過機フィルター修繕（50m・円形プール）
		倉庫屋根修繕
		プールクリーナーロボット購入
	弓道場	弓道場可動式建具修繕
		弓道場天井修繕
	梢山地区多目的グラウンド	トイレ水栓修繕
	川上哲治記念球場	西側排水改修修繕
	第一市民運動広場	トイレ水栓修繕
樹木伐採		
その他	台風15号によるスポーツ施設看板修繕	
	台風16号によるスポーツ施設修繕	
平成28年度	人吉スポーツパレス	高圧気中開閉器改修工事
		ランニングマシン購入
		バスケット競技用備品購入
	市民プール	プールフェンス扉修繕
		プールコースライン画線工事
	射撃場	クレー放出機電気配線修繕
		射撃場内土砂等除去作業
		クレー放出機購入
	梢山地区多目的グラウンド	トイレ照明改修工事
	川上哲治記念球場	球場スコアボード改修工事
		グラウンド改修工事
		球場エアコン設置（救護室、審判控室）
	村山公園テニスコート	地下散水栓撤去修繕
人工芝新設工事		
第一市民運動広場	広場照明設備改修工事	

※平成29年度以降の実績は、次ページに続く。

スポーツ施設の整備・改修及び備品購入実績（平成27年度～令和2年度）つづき

年度	施設名	内容
平成29年度	人吉スポーツパレス	防水修繕
		非常用照明設備改修工事
		自動券売機購入
		全自動血圧計購入
		非常用放送設備購入
	市民プール	50mプールFRP修繕
	射撃場	射撃場進入路排水整備工事
		射撃場法面下部側溝浚渫
	梢山地区多目的グラウンド	サッカーゴール購入
	川上哲治記念球場	ストロングベース固定式一式購入
	相撲場	土俵表土改修工事
	村山公園テニスコート	テニスコートラインテープ修繕
		砂入人工芝整地マット購入
第一市民運動広場	移動式バックネット購入	
	ゴムピッチャープレート購入	
	コートブラシ購入	
平成30年度	人吉スポーツパレス	大アリーナ吸収冷温水機部品交換修繕
		高圧ケーブル交換工事
		給湯室湯沸器購入
		コードレスバイク購入
	市民プール	国旗掲揚ポール撤去
		市民プール施設内PCB含有調査
		円形Bプール塗装工事
	射撃場	射撃場北側倒木伐採
		風倒木伐採業務委託
		射撃場法面補修工事
川上哲治記念球場	壁掛け式工場扇購入	
平成31年度 (令和元年度)	人吉スポーツパレス	大アリーナ天井部見切り撤去業務委託
		小アリーナ床塗装改修工事
		ランニングマシーン購入
	梢山地区多目的グラウンド	グラウンド整地作業
	川上哲治記念球場	散水栓設置及び漏水修繕工事
第一市民運動広場	広場北側女子トイレ取替修繕	

※令和2年度実績は、次ページに続く。

スポーツ施設の整備・改修及び備品購入実績（平成27年度～令和2年度）つづき

年度	施設名	内容
令和2年度	第一市民運動広場	支障木伐採業務委託
	川上哲治記念球場	内野整備修繕
		スポーツトラクター修理
	人吉スポーツパレス	非接触型赤外線式体温計購入
	人吉スポーツパレス 川上哲治記念球場	体育施設自動水栓取替工事
市民プール	プール横市占用道路舗装工事	

※指定管理者による改修・購入等の実績は含みません。

## 2 施策の方向

### (1) 利用環境の向上

市民みんなが、快適に施設利用できるように、被災した施設については復旧等に取り組み、施設の整備、利用環境の向上を図ります。

また、市民のスポーツニーズを踏まえながら設備等の充実にも努めます。

### (2) 施設の長寿命化

老朽化しているスポーツ施設については計画的に改修整備を進め、施設の長寿命化を図っていきます。

### (3) 財源の確保

施設を安全に利用していただくため、施設の維持管理に伴う費用について、利用料金の見直しを検討していきます。

また、厳しい財政状況等を考慮しつつ、国・県の補助金、スポーツ振興くじ（toto・BIG）の助成事業等を活用し、財源の確保に努めます。

## 3 目標

◎多くの市民の皆様にさまざまなスポーツに親しみ、楽しんでいただけるよう利用促進を図ります。

成果指標	現状値 （平成30年度）	目標値 （令和7年度）
社会スポーツ施設の年間利用者数	206,041 人	207,000 人
学校体育施設の年間利用者数	58,723人	59,000 人
校区コミュニティセンター体育館年間利用者	42,285人	43,000 人

※新型コロナウイルス感染症と令和2年7月豪雨災害の影響がなかった平成30年度の数値を現状値として採用しました。

## 4 具体的な取り組み

### (1) 施設の整備、設備・用具の充実

定期的に施設の点検整備を行い、必要に応じて修理・修繕等を実施します。さらに、外部有識者等で組織する「人吉市体育施設事故防止対策審議会」を開催し、施設事故の防止、安全対策に取り組み、安心して利用できる環境づくりに努めます。

また、スポーツ設備・用具の充実を随時実施し、利用者にとって魅力があり、スポーツに親しみやすい環境づくりに努めます。

### (2) スポーツ施設の利用促進

本市では、社会スポーツ施設11施設、校区コミュニティセンターの体育館の一般利用のほか、小中学校の体育館やグラウンドといった学校にある体育施設を一般市民に開放しています。

これらの施設は、地域におけるスポーツ交流の場として、重要な位置付けにあります。また、社会スポーツ施設は各種競技大会を開く拠点施設となっており、競技大会を目指して練習する動機付けにもなっています。

施設情報の発信など利用促進に向けた取り組みを実施していきます。

### (3) 施設の長寿命化

本市の社会スポーツ施設11施設は、設置時期から複数年が経過し、老朽化が進んでいます。

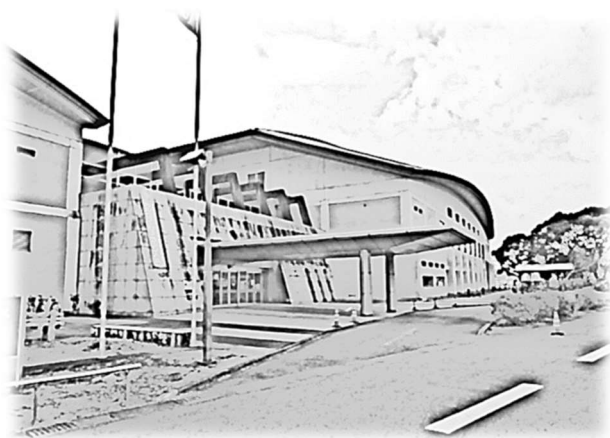
個別施設毎の長寿命化計画を策定し、計画的な施設の改修整備を実施し、長寿命化を図るとともに、老朽化等による大規模改修等が必要な施設については、今後の施設のあり方についても併せて検討を進めていきます。

### (4) 多目的運動広場の調査・研究

多目的運動広場の建設は、本市の長年の検討課題であり、候補地を公表するなど具体化したこともありますが、現在は、さまざまな要因から構想そのものが白紙の状態です。

建設に際しては開発行為など複雑な法手続き、さらには多額の費用が必要なことから、現在の財政状況下では厳しい状況となっております。

多目的運動広場建設については市内に建設することにこだわらず、「広域的な利用を目的とした建設ができないか」なども視野に入れながら調査、研究していく方針です。



人吉スポーツパレス



川上哲治記念球場